



自然と人間社会が共生する只見町

No.180

令和7年7月11日発行

2025 JULY

# 議会だより



**また来てください！リゾートしらかみ樺**

(表紙の説明は6ページへ)

特集！医療・介護・福祉サービスの一進一退！

..... 2~3

只見町の未来を考える！令和7年6月会議 ... 4

10名が町政を問う！一般質問 ..... 11~21

只見町議会中継は、只見町議会  
ホームページからも視聴できます。  
議会中継へ➡



# サービスの一進一退!

6月定例会等で示された施策を、広報広聴常任委員会で協議し4つのトピックスとしてまとめました。明るいニュースから残念なニュースまでありますが、いずれも町民の皆さまの生活に密着した内容となっております。

限られた紙面ではお伝えしきれない内容もあります。ご不明な点は、我々議会議員に気軽にお話しかけ下さい。これからも丁寧な広報を心掛けてまいります。

老人ホームは空きが無く、財政状態も潤沢なのだろうと思っていました。でも実際のところは高齢者人口も激減しており経営難であると初めて知りました。  
私の父も高齢で今後介護等が必要となってくるものと思われるなか、「あさくさホーム」の閉鎖は不安を煽るニュースとなりました。

鈴木勇人さん  
(赤沢)

「あさくさホーム」は、只見町民のみが入所できる特別養護老人ホームとして社会福祉法人南会津会で運営してきた。しかしながら近年では入所待機者が減少し、職員の確保も困難となっているため長期間にわたって空床ベッドが生じている。そのため収入の確保が困難となっており、施設を運営する社会福祉法人南会津会は町に対し、事業の廃止に向けた協議を求めている。

topic  
1

「あさくさホーム」が閉鎖へ  
高齢者人口も減少の局面へ

topic  
2

## 国民健康保険税！ これからどうなるの……？

平成30年4月から国民健康保険事業の運営は、福島県内の市町村による個別のものから福島県も含めた広域化となった。

保険税（保険料）は市町村が加入者から個別に集めるが、福島県全体の国保加入者の医療費を賄う制度となるため、保険税は上昇する見込みである。

### 只見町はどうなるの？

令和11年度には、保険税率が、福島県内同一税率になる。それによって、只見町分の保険税の急激な上昇が見込まれるため、只見町では、令和7年度から令和14年度まで毎年800万円の基金を活用し、加入者の保険税の上昇を緩和していくこととした。

### 国民健康保険の手続きはどうなるの？

国民健康保険の加入や離脱、保険給付の手続き、医療の受け方そして国民健康保険税の納め方は今までと変わりはない。



# 医療・介護・福祉

topic  
3

## 朝日診療所 常勤医師2名になる！

じょう 城医師、み わ たに 三輪谷医師、応援医師の新たな医療体制に期待

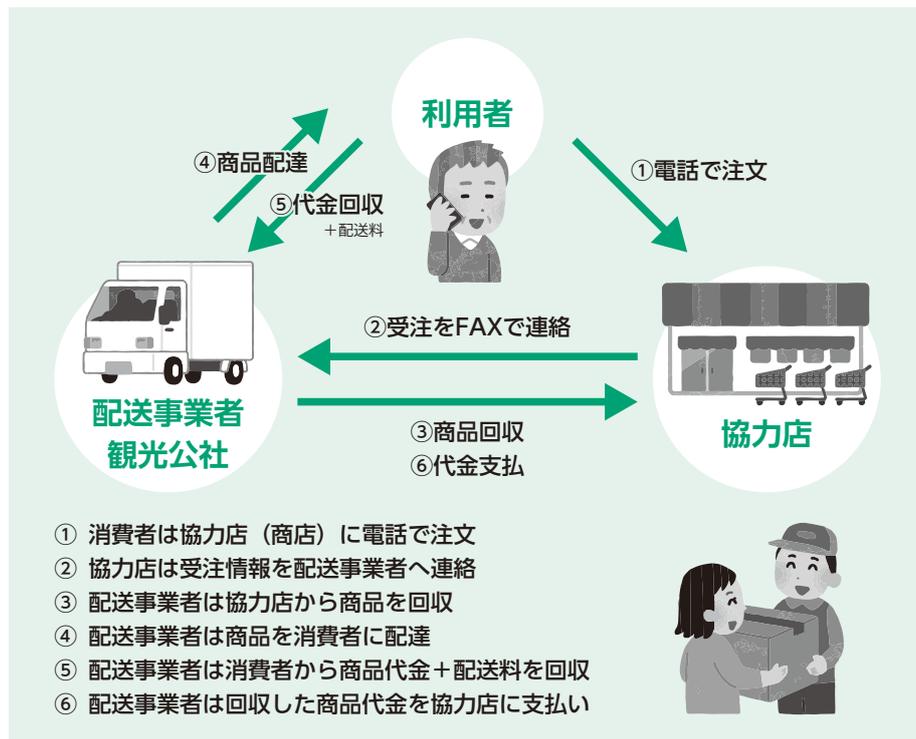
＼オンライン診療スタート／

診療端末機購入  
201万円

県の協力により朝日診療所と会津医療センターを結ぶオンライン診療端末機を導入する。制約はあるが、へき地医療の新しい取り組みとしてスタート。



こぶし苑施設長に三輪谷医師



- ① 消費者は協力店（商店）に電話で注文
- ② 協力店は受注情報を配送事業者へ連絡
- ③ 配送事業者は協力店から商品を回収
- ④ 配送事業者は商品を消費者に配達
- ⑤ 配送事業者は消費者から商品代金+配送料を回収
- ⑥ 配送事業者は回収した商品代金を協力店に支払い

topic  
4

7年度補正予算

商品宅配サービススタート！

町内の移動販売業者が撤退したことにより、食料品や日用品の購入が困難な方（高齢者等）への買い物支援として、商品宅配サービス事業（モデル事業）を実施するもの。詳しい流れは、図のようになる。

買物支援事業  
業務委託料

401万円

質疑応答

**問** 注文の際にカタログ等の資料があれば、スムーズな注文ができるのでは。

**答** 協力店と協議していききたい。

**問** 3地区平等に毎日配送できるか。

**答** その予定であるが、モデル事業

としてスタートするので、事業実施しながら、改善・改良したい。

令和7年只見町議会6月会議に提出された条例や補正予算での主な質疑応答や改正理由をご紹介します。主に今年の大雪被害による修繕・復旧のために使われます。

## 旧五十嵐家(国重文) 住宅保存修理工事

# 4500万円

**問** 旧五十嵐家の修復に計5000万円計上されているが、適正か。

**答** 建物共済に加入しており、国県からの補助がある。修復を行う事業者が限られており、材料費も高騰している。茅葺きをして20年が経過しており、まずは原状復旧をしたい。

## 大雪農業災害特別 対策事業補助金

# 166万円

**問** 昨年的大雪でパイプハウス等が多く倒壊した。基本的には交付決定後の着手だが、作付け時期もあるため、早急に実施するべきと考える。

**答** 交付決定前でも農業に着手できる方向で進んでいる。

## 克雪対策事業 補助金

# 803万円

**問** 克雪対策事業が補正予算で計上されている。当初予算で計上すべきではないか。

**答** 昨年的大雪で申請件数が増え、補正となった。現在70件の申請がある。

## 消防団条例の 一部を改正する条例

# 306万円

人口減少やなり手不足により定数を350人から320人へ。

団員報酬を上げて、団員不足や負担軽減を図る。(団長、副団長を除く)

**問** 団長や副団長は大変な職責であるが、報酬を上げない理由は。

**答** 消防団内部で協議があり、今回は見送る結果となったが、検討を進めていく。

陳情2件の審査内容等については経済常任委員会の報告(7頁)を参照。

# 雪崩により流失した「出逢橋」 復旧工事に着手！

全員協議会において、国道252号（田子倉地内）の「出逢橋 仮道工」の工事に着手した。との説明があった。「仮道工」の概要は、延長約200mで旧道敷を利用し、一部仮橋の設置となる。復旧時期については未定で、7月中の公表となる予定。工事の進捗の様子は南会津建設事務所Instagramにて更新中。

復旧工事を施工している永洸建設(株)の工事担当者にお話を伺うことができた。



南会津建設事務所  
Instagram

安全第一に  
1日も早く完成させたい。

**問** 現在、苦労していることはなんですか。

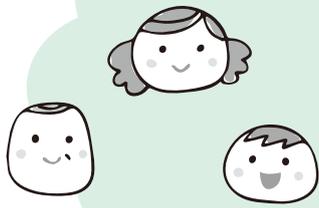
**答** 当初、福島県側からの施工を考えていたが、工期短縮のために、福島・新潟両県側からの施工にしました。そのために重機や資材など、福島・新潟両側から手配することになり、苦労しています。



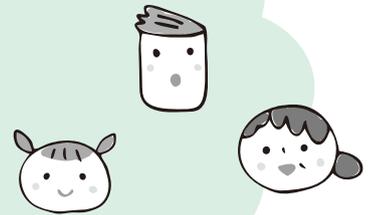
工事担当者の永洸建設(株) 酒井 守さん

## 議員定数と報酬を考える

全員協議会において、議員の定数と報酬が議題に上がり、6月会議にて「只見町議会議員の定数と報酬に関する調査特別委員会」が設置された。委員長に中野大徳議員、副委員長に菅家忠議員が選任され、今後慎重に審議を進めていく。また、委員会の様子はYouTubeで配信することとした。



# 町民の声



町のこと、議会のことについて想いを寄せていただきました。

## 議会だよりの雰囲気が変わりましたね

最近、町民の人が沢山写っていると思います。ながら読んでいます。

特に前号の、町民の人に「これはどう思いますか？」とお話をして議会だよりを作っているのは、とても良い取り組みだと思います。議員さんはどことなく話しかけにくいと思ってしまうので、議員さんから来てくれる



のはお互いに良いことだと思えます。

細かい数字はよくわかりませんが、議会だよりを読むとなんとなく只見町はこういうことをやっているんだなとわかります。小学校の記事は、これまでの経緯が書いてあって、この後どう進んでいくのかがわかりやすくなるとまわって、読みやすかったです。

難しいことが多いと思いますが、できるだけ砕いて伝えてくれると、嬉しいです。

(40代女性)

## 議会だより・議会中継を見て感じたこと!!

\*議会だより179号で、予算に対する町民の声が掲載され、親しみやすさがあり良かったです。

\*予算特別委員会のトピックスのところに解説がついていて、内容を理解しやすくなると感じました。

\*QRコードが表示されているので、議会中継を見直す際に助かります。

\*議会だよりに議会中継での総視聴回数掲載していたら参考になります。

\*一般質問のその後が気になります。「追跡調査レポート」というコーナーがあるといいなあと思いました。

\*議会だよりの紙面に感想・意見を記入する欄をつくって、回収ボックスを置いたらどうでしょうか。

\*80代、90代の方々の意見も聞いてみたいです。

これからも、分かりやすい議会だよりをよろしく願います。

(40代女性)



## 表紙の写真に想う

令和7年6月7日に「リゾートしらかみ」が初めて只見線に入線しました。表紙の写真は只見線子ども会議のメンバーが見送りにしている1コマです。

大勢の地域の皆さんが只見駅に集まり、横断幕を掲げ、元気に手を振っている姿が印象的でした。乗客の皆さんも笑顔で手を振り、列車は五能線へ帰っていききました。



## ●只見町認定こども園 円滑な運営を

只見町認定こども園『ぶなのもりこども園』は4月に開園し、集団教育・保育の充実、更に保護者との情報共有を大切にやり組んでいる。特に送迎バスの安全運行、安全確認を基本として対応しているとのこと。



現状から、施設面や送迎バスの運行と只見町明和保育所での体制について課題もあり、只見町の幼児教育、子育て支援の拠点として円滑な運営に向け継続し調査をしていく。

## ●公共施設の適正な管理を

3月会議予算特別委員会では、朝日診療所の医師住宅の適切な管理について意見として付している。

町内には活用されていない公共施設等も見られるため、その現

状と今後の利用方策について説明を求めた。

公共施設管理計画では、今後の施設改修・更新にあたり現状の財源では困難な状況が見込まれ、町財政や行政サービスに大きな影響

を及ぼす可能性があるとしている。

行政サービスと公共施設の管理運営は密接な関係があるため、今後調査を継続する。

## ●請願・陳情結果

\*陳情6-12 冬季孤立住宅解消事業の改善と鈴木澄雄さん宅の早期解消のお願いについて

陳情者 〓 布沢区  
審査結果 〓 不採択  
審査理由 〓 (抜粋)

制度の改善については、今後、移住定住、福祉政策、の側面から除雪支援、防災対策としても制度見直し等状況に応じ検討が必要と考える。

工事費用を積算したところ、5千万円を超える金額となり、他地区にも同様の例が複数あるため現時点では困難である。

\*陳情6-13 並滝水路融雪災害復旧事業を令和7年度当初予算に計上をお願いする件

陳情者 〓 布沢区  
審査結果 〓 不採択  
審査理由 〓 (抜粋)

災害復旧事業の規定を改善することについては、今後災害状況にあった見直しが必要と

考える。

工事追加金額が990万円と多額。本格的復旧工事の実施となれば、調査設計、湧水処理、地盤改良と見積もり以上の工事費が見込まれるため困難である。なお、町は同事業に補助金を支出しているが、完成に至らず集落任せの事業から起こった事案と重く受け止めたため、迅速に集落、受益者と協議し補助金が適正に執行され解決することを望む。



## ●「町民の声」コーナーを充実させたい

只見町議会広報モニター制度設置要綱(案)を作成し、委員会内で協議した。

その結果、制度の枠組みを作ることから始めるのではなく、現在ある「町民の声」コーナーを充実していく。



## ●統合された新・広域組合が始動

南会津地方広域市町村圏組合は第2回臨時時  
会が4月10日、第3回臨時時  
会が5月23日に開  
会された。

第2回臨時時会では条例改正が2件、刑法改正による  
条例改正が議

## ●大船渡市の林野火災 南会津消防も派遣

去る2月26日に発生した岩手県大船渡市の林野火災に関して、5月23日の会議後、南会津消防本部による報告  
会が開催された。本県からは641名からなる緊急消防援助隊福島  
県大隊が編成され、南会津消防本部からは38  
名が派遣された。

南会津消防本部派遣隊は2月26日から3月1日まで現地で活動を行なった。早朝から深夜に及ぶ活動はほぼ休むことなく行われた。また現場は傾斜地であることから消火活動は困難を極めた。鎮圧は3月9日、鎮火は4月7日であった。

5月30日

所管事務調査

・議員のなり手不足の総括

・行政視察

6月5日

6月会議の開催

・6月会議の日程等

・請願・陳情

・特別委員会設置



傾斜地での消火活動は困難を極めた

# 第76回南会津地方

# 町村議会議員大会が開催

7月3日に南会津地方町村議会議員大会が開催され、南会津郡の議会議員全員が一同に集まりました。国会議員、県議会議員が来賓で招かれている中、福島県へ要望事項を伝えました。

只見町議会の要望事項は以下のとおりです。（抜粋）

## 一般国道289号「八十里越」区間の開通に向けた周辺道路の整備促進と 国道252号「出逢橋」早期復旧について

1. 只見町内の一般国道289号は道路幅の狭い場所、大型車両のすれ違い通行が困難な箇所が多く、特に叶津市内の只見線の鉄橋は高さが低く、道路幅が狭隘のため、車両・歩行者共に危険が伴う状況となっている。黒谷字化ヶ地内、冬期間事故の多発する長浜杉沢地内から大倉地内までの急カーブの道路改良の急カープの道路改良の整備、明和橋の架け替え等の整備を早急に実施すること。

現し安全で安心な道路整備を図ること。

国道の迂回路路線として重要な道路であり、雪崩による冬季通行止め区間や狭隘区間があることから、「八十里越」開通後交通量増加が見込まれることを考え、早急に整備促進を図ること。

3. 「出逢橋」流失により不通となっている国道252号「六十里峠」は当町だけではなく、福島・新潟両県において観光や物流等の道として重要な道路であることから早期の復旧再開通を図ること。

## へき地診療所の

## 常勤医師の確保について

1. 医療体制が脆弱な広大な面積を有する南会津郡西部地域や只見町における地域医療の存続のため、中山間地域の抱える実情を考慮し、へき地診療所である只見町国民健康保険朝日診療所への医師を継続的に配置・派遣する特別な措置を講ずること。



議会を代表し平山議員が演壇へ



ブナりん

# 教えて! 議会のこと

Vol.44



アカショウちゃん

## 国と町の議員の ちがってなあに?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami



**ブナりん** テレビで参議院選挙の話題を見るけど、国と町の議員さんの違いはあるの?

**議長** 国会議員とよばれる人は日本全体のことを、僕たち只見町議会議員は主に只見町のことを決める仕事になるよ。

**イワっぺ** 他には違いはあるの?



**議長** 内閣総理大臣は知っているよね。内閣総理大臣は国会議員の中から選ばれているんだ。只見町長はどうやって選ばれているかというと、只見町民が直接選んでいるんだ。僕たち只見町議会議員も同じように選ばれていて、国と町ではそういう違いもあるよ。



**アカショウちゃん** 議員さんは選挙で「これをやりたい!」と話しているけど、それも同じ?

**議長** それが実は違うんだよ。

国会議員は「これをやりたい」が実現できるけど、只見町議会議員は基本的にはできないんだ。それができるのは町長さんで「提案権」というよ。

**ブナりん** じゃあ只見町議会議員さんの仕事って?

**議長** 僕らの仕事は「議決権」という提案されたことを決める仕事なんだよ。町長さんと役割を分けているんだ。

他には計画の進み具合をチェックしたり、お金の使い道がみんなのためになっているかも確認するよ。それら全部をひっくるめて、「もっとこうしたら良くなるかも?」と話し合いをする仕事なんだよ。

**ブナりん** そうなんだ! 同じようでも違う仕事なんだね。教えてくれてありがとう!



只見町議会中継は、  
只見町議会ホームページから  
視聴できます。



各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！

\*注 2名が一緒に録画動画になっています。



ブナりん

一般質問者席

## 一般質問

- **角田 誠** .....12  
移住者の増加に向けた取り組みは
- **小沼 信孝** .....13  
買い物弱者への支援策は
- **矢沢 明伸** .....14  
人口減少、今後の町づくりは
- **齋藤 猛** .....15  
国道252号線の今後は
- **平山真恵美** .....16  
多様な働き方による担い手の確保は
- **鈴木 好行** .....17  
ふるさと納税増額への取り組みは
- **酒井 右一** .....18  
こども園開所における現時点の評価は
- **菅家 忠** .....19  
国道289号の除雪体制の進捗は
- **中野 大徳** .....20  
あさくさホーム事業廃止の影響は
- **目黒 道人** .....21  
新規開業者の掘り起こしを

# 町政を問う

町を想い10名が

### 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

# 移住者の増加に向けた取り組みは

**答** 現状に沿った利活用を検討していく



つのだ まこと 角田 誠 議員

**問** 小林上照岡地区の教職員住宅は解体の検討はあるか。

**答** 当建物は老朽化が著しく、解体撤去を予定している。

**問** 家を建てたいが土地がない方に土地提供の検討は。

**答** 今後の利活用がない場合は、町有地の譲渡や公売等の考えを持っていく。

**問** 現在の町長及び副町長は元役場職員であり、行政業務に精通している。職員数がギリギリの中で町

長の思う部下を配置することは、全体を見た時に公平性やバランスを欠く。副町長が政策監の代わりをし、総務課長が補佐をすればできるはず。儉約しないといけない財政状況、現実があることを、町長自らが知らないといけない。

**答** 私の任期中に町長の重要なターニングポイントが重なると考えている。特定任期付職員として政策監を設置し、しっかり結果、成果を出していかなければならない決意が設置理由。

**問** 町民から様々な意見があることは承知しているが、政策目標を達成しなければならぬ使命がある。町の様々な課題に応じて、組織作りは柔軟であるべきと考える。

**問** 只見なびに只見高校生が企画した、青春18×2聖地巡礼スタンプラリーが掲載されていない。なぜか。

**答** 機能があるなら載せるべきだった。高校生の提案を町も一体となって取り組む姿勢、配慮が足りなかった。

**問** アンケートやクーポンも現在まで配信がない。観光モデルコースも3つしかないが、四名山も掲載すべきだ。

**答** 四名山の掲載も含め、内容の充実を図っていきたい。

**問** 儉約するべき所は儉約する、お金をかける所はしっかりかけて事業を確実に回していくべきだと考える。

**答** その通りだと考える。メリハリをつけ町民、住民福祉のために有用な事業は予算付けしてやっていく。

**観光アプリ事業は成果が乏しいのか**  
**答** 運用面の改善を含め内容の充実を図る

【只見なび】2023年12月1日リリース  
只見町の観光アプリできました

クーポン おトクな情報  
Tadami

アプリ会員登録特典  
今なら「只見なび」をダウンロードで、先着2,000名様に500円分のクーポンをプレゼント!  
(※必ず必ずダウンロードしてください。券はダウンロード完了後に表示されます。)

【利用期間】2023年12月1日～2024年3月31日

参加店  
冬の贈り物 | フロント、売店、レストラン | ちらし(準備中)  
インフォメーションセンター、只見スキー場(冬季のみ)、レストランやまび  
※会員登録いただいた観光キャンプ場、只見湖の観光地(2024年春より開始)

ダウンロード方法

- 1 「只見なび」アプリをインストール
- 2 「店舗番号で検索」に「店舗コード」を入力し「表示する」をタップ
- 3 「会員登録する」で「会員登録を完了すると会員登録の発行が完了！」

問合せ: 只見町文化推進課 (TEL: 0241-82-5240)

只見なびの活用は観光をもっと便利に

# 買い物弱者への支援策は

**答** 複合施設・生活拠点の中に支援策を

**問** 町内三地区で生活用品・食料品を購入できる店は何軒あるか。

**答** 只見地区7軒、朝日地区4軒、明和地区4軒となっている。

**問** 複合施設の中に生活の拠点を考えるのだが、町民からはなぜ遠いところに作るのかという声

もある。生活の拠点から移動販売車、買い物送迎などを取り入れることにより町民から出て良かったと言って貰えるようなものにするべきでないか。

**答** 生活の拠点づくりの中には買い物弱者支援が出来るようにしていきたい。

**問** 買い物支援策として商品宅配事業を6月議会に予算を計上されているが、どのような方法で実施するのか。

**答** 買い物支援を利用したい方が、協力店に電話で注文して配達事業者が利用者宅へ配達代金回収、配送に係る経費は町が負担する。予算が確保できたら早急に実施したい。

**問** 移動販売車や宅配サービス等は商品を販売するだけでなく見守りや福祉の面もあると思うのでしっかりと取り組んで欲しい。

**答** 現在でも保健福祉では基準や決まりはあるが、買い物支援等を行っている。

**問** 買い物弱者支援について5つの提案をしたい。

1. 移動販売車の導入
2. 宅配サービス
3. 買い物代行サービス
4. 買い物送迎サービス
5. オンラインショッピング支援

**答** これらの他にもあると思うがいくつも取り組むことが必要だと思うがどうか。

**問** 複合施設に生活の拠点が出来て良かったと言って貰えるような施設にしてみたいがその施設はいつ頃できるのか。

**答** そのように考えて取り組んでいきたい。

**答** 国道289号の開通を見越して考えているので、今年度中には作り上げ進めたい。



早急な対応を望む



お ぬま のぶ たか  
**小沼信孝** 議員

# 人口減少、 今後の町づくりは

**答** 最大の課題、危機感を持って取り組む



あきのぶ 矢沢 明 議員

**問**

只見町はここ10年で急激な人口減少となっている。人口減少が与える地域への影響をどのように捉えているか。さらに今後の町づくりをどう進めていくのか。

**答**

これらの影響は、社会保障費の増加や税収の減、地域活力の低下、集落の暮らしの仕組みにも大きな影響があり、ほぼ全ての分野について影響は多大であり、危機感を持っている。

**問**

目まぐるしく変化する社会情勢の中、検証委員会にお願いするだけでなく、町長含めて職員も常に事業を※PDCAサイクルの観点で取り組んでいくことが必要ではないか。

**答**

PDCAサイクルで取り組んでいくことは基本と考える。予算、財政面、事業の効果、両方を見ながらやっていくことが求められているが、このサイクルが回っていくような職場風土づくり、人間関係づくりが大事であると考えている。

**問**

人口減少の中で、行政が住民の声を聞くこと、状況を掴むこと、住民との対話が今一番必要ではないか。以前行われてきた集落座談会などの開催は。

**答**

集落座談会からいくつか改善や新たな施策として予算化し、事業実施まで取り組んできた。今年は三地区で町政座談会を開催する予定である。また、中央公民館を設けて地区公民館活動を一本化し、そこに集落の方が集い、意見を集約し集落支援の体制をとってきている。

**問**

町民の方にも地域の課題への関わりをもっていたくため、公民館活動は重要であると考える。具体的な取り組みを。

**答**

住民のみならずにも困りごとの解決、地域が存立していくために必要な学びを進めていくことに注力し、取り組んでいきたい。

**問**

今後特に、関係人口、二地域居住、地域に関わりのある方を大切に、そして地域住民の方の活力を高めていく施策と取り組みは必要でないか。

**答**

住民の方々と共に地域共創という考え方で、改善点に努め住み良い町づくりに努めたい。



住民の活力を高める取り組みを

※PDCAサイクルとはPlan(計画)、Do(実行)、Check(確認)、Action(改善)計画から改善、そしてまた計画から改善、というサイクルを何度も繰り返すことで、継続的に業務改善を行なうこと。

# 国道252号線の今後は

**答** お盆前の開通を、県に強く要望

**問** 出逢橋の流失に  
関する町の対応  
方針、情報周知の方法  
は。

**答** 県による仮設道  
路の工事契約が  
5月末に完了した。開  
通日は7月開催予定の  
対策本部会議で公表さ  
れる見込みだ。町とし  
ては町村会を通じた要  
望活動も行い、連携し  
て復旧を進めていく。

南会津建設事務所のホ  
ームページに会議資料  
を掲載し、町としても  
積極的な情報発信に努  
めていく。

**問** 雪崩危険箇所  
の見直しは。

**答** 豪雪地帯である  
ことから、今後  
も点検・確認を進めて  
いく。防災面でも見直  
しの必要性を認識して  
おり、検討していく。

**問** 流失による経  
済・観光への影  
響と支援策は。

**答** 経済的に大きな  
影響があったと  
考えている。町内事業  
所の支援策としてプレ  
ミアム付き商品券の発  
行を前倒しで支援につ  
なげたい。

**問** 景観に関する課  
題は。

**答** 一部に景観上の  
課題がある。

**問** 「自然首都・只  
見」「ユネスコ  
エコパーク」にふさわ  
しい景観とは。

**答** 只見町の美しい  
景観は、先人の  
暮らしの積み重ねによ  
り守られてきたもので  
ある。山林資源の有効  
活用が課題解決の鍵と

考えており、間伐材の  
活用などを通じて、持  
続可能な景観の維持に  
取り組んでいく。

**問** 「住民と自然が  
共生するモデル  
地域」としての森林整  
備とは。

**答** 広葉樹への転換  
など、多様な整  
備手法を取り入れ、専  
門家の意見も踏まえて  
検討を進めていく。

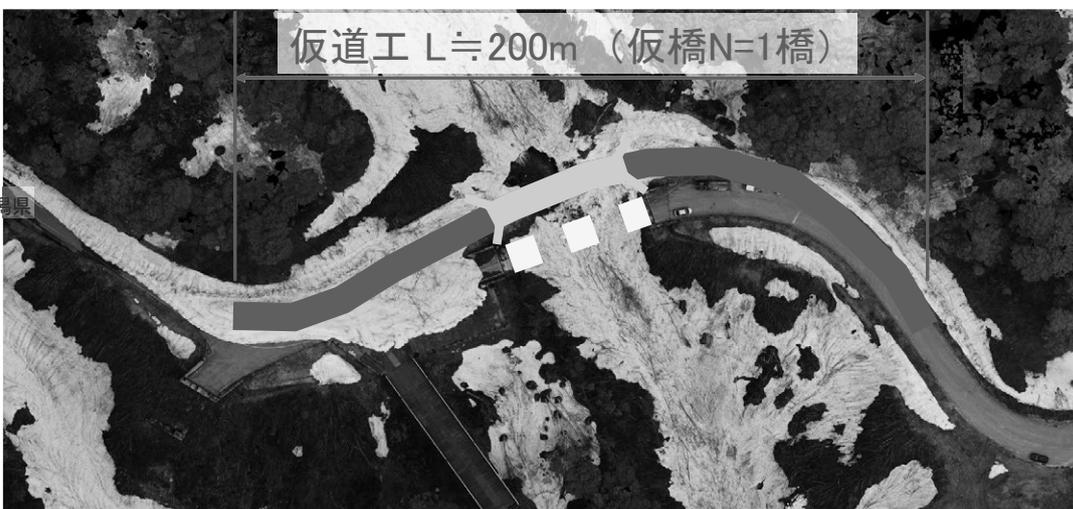
**問** 耕作放棄地の解  
消に向けた具体  
策は。

**答** 交付金を活用  
し、農地管理を  
支援していく。「地域  
計画」や「目標地図」を  
作成し、守るべき農地  
を明確にする。農業機  
械の導入支援や畑地の  
有効活用も推進し、農  
地の計画的な維持管理  
を通じて、環境保全に  
もつなげていく。

「自然首都・只  
見」「ユネスコ  
エコパーク」にふさわ  
しい景観とは。



議員 猛 藤 とう さい 齋



旧道を利用した復旧内容

# 多様な働き方による 担い手の確保は

**答** 働きやすい町づくりを推進



ひらやま まえみ  
**平山真恵美** 議員

**答** 異業種連携による  
通年雇用は事業協同組合の一例。ライフステージに応じた柔軟な働き方の創出に努める。

**問** 多様な働き方を支える施策は。

**答** 職業紹介所や「おしらせばん」の求人掲載を通じて雇用創出に努め、より良いマッチングの方策も検討する。

**問** 働き手と現場ニーズのマッチング対応は。

**答** 職業紹介所や「おしらせばん」の求人掲載を通じて雇用創出に努め、より良いマッチングの方策も検討する。

**答** 人口減少の中で、公聴の重要性を認識し、町民の声を丁寧にする上げ施策へ反映させる。

**問** 町民や外部の視点を施策にどう反映するか。

**答** 目的や役割の明確化、信頼関係の構築が不可欠。中間支援人材の育成や連携の仕組みづくりに取り組む。

**問** 多様な人材と立場を超えた協働の実効性は。

**答** 「始める支援」から「続けられる仕組み」への転換は。認定こども園では、就労の有無にかかわらず子どもの育ちを支える体制を整備。今後は柔軟な働き方に対応し、働き続けられる環境づくりを進める。

**問** 選ばれる町としての戦略は。

**答** 八十里越えの開通を見据え、豊かな自然を観光や仕事の魅力とし、山村教育留学制度の効果に関係人口の拡大や人づくりへとつなげていく。



暮らしに寄り添う働き方が、あたりまえになる社会へ

## 空き公共施設の 活用方法は

**答** 今後の協議で方向性を見出す

**問** 共に支える地域づくりとは。

**答** 地域の実情や多様なケースを想定し、ニーズの把握に努める。

**問** 地域交流や活動拠点としての活用は。

**答** 具体的な活用方法について意見交換を重ねながら検討していく。

# ふるさと納税 増額への取り組みは

**答** あらゆる機会を通じて呼びかけ

**問** 議会は、自主財源の確保に向け「ふるさと納税の拡充を求める。」と意見してきたが、令和5年度・6年度において、その効果が表れていない。ふるさと納税額増に向けて新たな取り組みはあるか。

**答** あらゆる機会を通じて呼びかけに努力している。

**問** 日本一の宮崎県都城市では、令和4年度195億9300万円の受入額だ。自治体の努力と企画次第で伸ばせる制度だが、どう考えるか。

**答** 肉、魚、米などの地場産品を持つている自治体は強く、そうでない自治体は苦勞しているという現状だが、引き続き努力する。

**問** 返礼品は物ばかりでなく、体験型観光を返礼品にしていく事例もある。

**答** 今後、研究と検討をしたい。

**問** 今後、研究と検討をしたい。

**答** 今後、研究と検討をしたい。

**問** 今後、研究と検討をしたい。

**答** 今後、研究と検討をしたい。

**答** 今後、研究と検討をしたい。

**問** そうした仕組みづくりは行政の仕事と考えるがいかがか。

**答** 必要なのは関わってくれる人材と考える。人材と仕組みづくりについて今後研究・検討する。

## 観光交流人口を増やすには

**答** 289号開通を好機と捉え推進する

**問** 「出逢橋」流失により、国道252号が不通となっており、観光客が減少している。この現状を捉え、新たな取り組みはあるか。

**答** 289号開通を観光交流人口増の好機と捉え、取り組みを推進する。

**問** 今年度の観光入込数の見込みは。

**答** 今年度の目標は25万人としている。

**問** 複合施設開設に向け、人材の確保が急務だ。間に合うか。

**答** 開設へ向け、町内に限らず、町外も含め、人材確保に向けて努力する。



ゆき よしき  
鈴木好行 議員

**答** 魅力的だと考える。



山の幸を返礼品に

# こども園開所における現時点の評価は

**答** 成果を踏まえ、計画的な改善を図る



さか い ゆう いち  
**酒井 右一 議員**

**問**

認定こども園が開所されてから約2か月が経過した。現時点での評価は。

**答**

こども園は幼児教育・保育の質向上を目的として設置した。従来の保育から教育保育へ移行し、年齢や発達段階に応じた教育課程を導入することで、子どもたちの興味や意欲を引き出す活動が充実したことを成果と考えている。

今後は、3歳未満児保育の在り方の見直しが求められること、施

設の老朽化により保育活動に制約が生じていることなどを踏まえ、計画的な改善を図っていく。

**問**

小学校のあり方検討懇談会で小学校の統合についての総論がまとまったと聞いている。朝日小学校については「公共施設の管理計画」で老朽化のため更新すると記載されており、これに基づき老朽化した建物の建て替えを行い、効率的な施設整備を進める計画が含まれているのか。

**答**

小学校の統合は、検討懇談会の方針をもとに「小学校改革審議会」を立ち上げ、統合の方向で具体的な検討を進めることが決定した。年内に答申予定だ。

**問**

「今後計画的に改善を図っていく」と発言したが、この趣旨は町として小学校や保育所、子ども園の建設を計画しているということか。

**答**

計画の方向性は、教育委員会内で協議を進めている段階。

**問**

大規模な施設建設を行うには、構想の策定から設計、入札、実施設計を経て完成までに多くの時間を要する。町長任期中に施設の基本計画を策定することは可能か。

また、統合計画の基本方針を決定し、着工まで進める意思は。

**答**

小学校改革審議会において統合の方向性が示されており、年内に答申をいただく予定で、速やかに検討を進めていく。審議会での中間報告を受

け、町長任期中に具体的な形が見えるよう取り組んでいく。



老朽化した建物の建て替えを

# 国道289号の除雪体制の進捗は

**答** 県、関係団体、町の3者協議を継続

**問** 只見町地域防災計画（災害予防計画）に「町は、町内の道路網の整合性のとれた除雪体制を強化するため、関係機関との相互連携の下に除雪計画を策定する。」とある。除雪計画の内容と進捗状況を町民にお知らせし、開通に向けて「自分たちは何をしなければならぬのか」を考え、準備してもらいたい。

せし、開通に向けて「自分たちは何をしなければならぬのか」を考え、準備してもらいたい。

例えば子どもたちの登校ルートは今のままでのよいのか。区やPTAに主体的に動いてもらう必要があるのではないか。

**答** 「あつたら良いな」と「なくては困る」は決定的に違うと考える。

あの時考えておけば良かったと後手に回らないよう、計画を具体的にしていく。

**問** 国道289号線を「命の道」として、除雪体制が決まらないうちに、医療体制も決められないのではないかと、町民の皆さまも含め、関係者の方々と共に考え、準備をしていく。

**答** 課税されている。

## みんなの国保税で子育て支援を

**答** 広い視野を持った政策提言を望む

**問** 税の三原則は「公平・中立・簡素」であり、総務省によると特に世代間の公平性が重要だとされている。この観点から本税制度を鑑みると、この課税は適正であると考えられるか。

**答** 均等割保険料として世帯の人数に応じた保険料の負担の必要があると考える。

**問** 子どもに医療分の均等割額を課税することは適切であると考えられるが、後期高齢者支援金を減免する考えはないか。国県と町が対等なのであれば、町ができることはやっとならぬと考える。

**答** 減免の考えはない。子育て世帯への支援は、保育料の無償化や給食費の無償化などを実施してきた。国保税の未就学児の一部分だけを見ることだけが、子育て支援の全てではないと考える。



かん け 菅 家 だ じ 忠 議 員

所得	区分	所得	基礎控除	課税所得	所得割	額
父		1,500,000	430,000	1,070,000	5.17%	55,319
母		1,000,000	430,000	570,000	5.17%	29,469
世帯主	介護	3,000,000	430,000	2,570,000	5.17%	132,869
妻	介護	1,000,000	430,000	570,000	5.17%	29,469
子	小学生			0		0
子	未就学			0		0
小計		6,500,000	1,720,000	4,780,000		247,126

所得割	所得割	所得割	所得割	軽減	小計	福祉課納
税率	税額	税額	税額	税額	税額	税額
父	5.17%	55,319	20,900		76,219	76,200
母	5.17%	29,469	20,900		50,369	50,300
世帯主	5.17%	132,869	20,900	13,000	166,769	166,700
妻	5.17%	29,469	20,900		50,369	50,300
子		0	20,900		20,900	20,900
子		0	20,900		10,450	10,400
小計		247,126	125,400	13,000	△ 10,450	375,076

所得割	所得割	所得割	所得割	軽減	小計	福祉課納
税率	税額	税額	税額	税額	税額	税額
父	2.11%	22,577	8,200		30,777	30,700
母	2.11%	12,027	8,200		20,227	20,200
世帯主	2.11%	54,227	8,200	5,300	67,727	67,700
妻	2.11%	12,027	8,200		20,227	20,200
子		0	8,200		8,200	8,200
子		0	8,200		△ 4,100	4,100
小計		100,858	49,200	5,300	△ 4,100	151,258

所得割	所得割	所得割	所得割	軽減	小計	福祉課納
税率	税額	税額	税額	税額	税額	税額
父	1.92%	49,344	9,600		63,644	63,600
母	1.92%	10,944	9,600		20,544	20,500
子		0	9,600		9,600	9,600
小計		60,288	19,200	4,700	0	84,188
小計		408,272	193,800	23,000	△ 14,550	610,522

私の視野が狭かったと、考えを改める答弁をいただいた。(当日の配布資料)

# 「あさくさホーム」 事業廃止への影響は

**答** 介護福祉体制の充実に努めていく



なかのたかのり  
**中野大徳** 議員

## 問

「あさくさホーム」は、今後の高齢者人口の減少に伴い、入所待機者の減少と入所者確保の困難化が予想され、事態が好転する見込みも想定できないことから事業廃止はやむをえないと説明があった。今後の進め方について協議を行い、5月中旬に入所者と家族に通知し、入所申し込みの受付を停止すること。利用者及びご家族には個別の相談に応じ、入所者の移動状況にもよるが、年度

内での事業廃止を予定しているとのことであったが町として、入居者及びその家族、町民に対しどのような認識か。

## 答

入所者からは、転居に理解を示しつつも、最後まで「あさくさホーム」で過ごしたかったとの声も頂戴している。町としてはご利用者と家族には大変不便をかけていると認識している。今後の事態の好転も見込めない中、空床を抱えた施設運営では経営が成り立たないことも事実である。南会津会としても苦しい判断であったらうと推察している。

## 問

建物は、事業廃止後に町へ無償譲渡されることであるが、無償譲渡以降の「あさくさホーム」その活用予定は。

## 答

現在、南会津会において入所者の転居を進めている段階であり、事業廃止時期及び無償譲渡については転居の目途を見込んでから協議をする予定である。

## 問

八十里、小学校、福祉施設等、町長は、「現在只見町はターニングポイントである。残り3年6ヶ月のうちに結果を出して明るい只見町へ繋げていきたい」と答弁しているが。

## 答

町にとって大切かつ深刻な時期だと感じている。福祉施設については、施設の再編、検討状況によっては組織の再編というところまで及ぶかもしれない。不安の解消、介護福祉体制の充実に繋がる取り組みをする。



年度内で事業廃止予定の「あさくさホーム」

# 新規開業者の掘り起こしを

**答** 商工会と共に掘り起こしを図る

**問** 事業者の廃業が相次いでいる。

サービスの担い手が減ることは地域の不便さが増し、移住定住どころか転出増の懸念にもつながる。市場経済原理での開業は難しいと考えるが、これまでの取り組みと成果を伺う。

**答** 只見町産業振興対策事業補助金

で産業おこし支援対策事業、6次産業起業家応援事業を行なっている。令和5年度にはこの事業を活用し1件の新規開業（蕎麦屋）があった。

**問** 厳しい背景がある中、只見駅前

で新規開業されたのは成果だ。観光客向けサービスは住民向けサービスでもある。会社員

**答** 開業セミナーやチャレンジシヨ

ップなど場所の提供などが考えられる。また相談を受け付けるなど伴走型の支援が掘り起こしにつながると考える。

や公務員など副業での掘り起こしを図ることはできないか。

## 審議会等での専門家選定は適正か

**答** 町外の有識者等に協力を仰ぐ

の方が単独、または過半数を超えることがないよう適正に事業を執行している。

**問** 小学校の在り方検討会にはオブ

ザーバーがいるのか。オブザーバーはいない。

**答** 小学校の1クラスあたりの人数

は30名程度という基準がある。教育委員会はクラス定員を議論の材料として提供できていたか。

**答** クラス定員について

は現状と今後の推移など資料を示した上で議論がなされた。なお県でのクラス定員はあるものの、地域の実情に合わせて現在の人数となっている。

**問** 町が公募する補助事業等、その分野の専門家を選定し

審議会等により決定される事業があるが、専門的知識のない一般町民を選定されることはないか。

**答** 審議会には一般

町民にも参画していた上で、それぞれの立場から意見をいただく。一般町民



とみちぐるめ 黒道人議員



サービス業の担い手が求められている

# 若者たちの目線 vol.44

只見町って  
なじよだよ？

## 見えなかった宝物



只見高校

3年 新國 夢萌

町のイベントで展示されていた只見小学校の総合的な学習の作品を見て、自分がこれまでに体験してきたことの

自分を支える土台にな  
っている気がします。

只見町で育ったからこそ見えた景色や出会いに感謝し、いつか自分の力として誰かに返していけたらと思います。

### ひとこと

素晴らしい気づきですね。感謝の気持ちを次世代に返してくれると嬉しいです。

## 東京から只見



只見高校

3年 武井 春樹

只見に来て一番よかったことは、大好きな野球を続けられていることです。最高の野球環境の町下グラウンドで

毎日プレーさせてもらい、仲間と切磋琢磨しながら、充実した毎日を送っています。(ですがもうポール間ダッシュは勘弁です。)学校は少人数の学級で、先生方が一人ひとりにしっかり目を配ってくれるので、悪さはできません。最初は驚いた大雪も今ではすっかり慣れました。自然に囲まれ

た環境の中で、人とのつながりの温かさを感じながら過ごせる只見での生活は、とても貴重な経験です。自然の中でのびのび過ごせる毎日がとても気に入っています。

### ひとこと

今度一緒にのびのびと、ポール間ダッシュをやりましょう！

## 編集後記

6月に梅雨入りはしたものの暑い日が続きました。つい最近まで大雪で大変な思いをしたのに今度は猛暑で気持ちがいっきまませんね。またどういいうわいか米騒動は続いています。秋には新米がたくさん穫れるといいですね。

さて、前号の議会だよりから編集期間をグッと圧縮したことにより、従来よりも1週間早くお届けすることができております。皆さんお気づきになられ

したでしょうか？

定例会後は速やかに原稿を作成し編集までスムーズに進行できるように、要項の整備やノウハウの集積に努めています。また町民の皆さんにもご登場いただき親しみやすい誌面づくりに心砕いております。

早かった！読みやすかった！なんでも良いのでご感想を我々にお伝えいただけますと励みになります。  
(目黒道人委員)

### 発行責任者

議長 佐藤 孝義

### 広報広聴常任委員会

委員長 菅家 忠

副委員長 目黒 道人

委員 鈴木 好行

委員 小沼 信孝

委員 矢沢 明伸

委員 角田 誠

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL：0241-82-5300 FAX：0241-82-5222 E-Mail：gikai@town.tadami.lg.jp